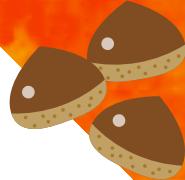


ろうさい かわら版

vol.48
秋号
2017



特集

- ◆ 治療就労両立支援 1P
- フォーカスインタビュー
- ◆ Focus Interview
(Qスイッチ付ルビーレーザー導入)
形成外科部長 池田 正起 2P
- ◆ 中央リハビリテーション部の紹介 3P
- ◆ ピンクリボン月間の取り組み 5P
- ◆ 最新のマンモグラフィ導入
くしろ健康まつり2017
HIV抗体検査会 6P

独立行政法人労働者健康安全機構

くしろろうさいびょういん 釧路ろうさい病院

地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院 エイズ治療中核拠点病院 日本医療機能評価機構認定病院

<http://kushiroh.johas.go.jp/>

くしろろうさいびょういん 検索

釧路ろうさい病院の理念

最新の知識と技術に基づき、
良質で信頼される医療を実践します。

基本方針

1. 安全で質の高い医療を実践します。
2. 患者の権利を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を実践します。
3. 透明性の高い医療を実践します。
4. 地域住民と勤労者の健康づくりのために、予防医療を実践します。

臨床倫理方針

1. 患者さんの人権を守ります。
2. 患者さんの自己決定権を尊重します。
3. 生命倫理に関する法律及びガイドラインを遵守して診療を行います。
4. 患者さんの信条や生命の尊厳に関する問題については審議を行い、治療方針を決定します。
5. 患者さんのプライバシーを遵守し、個人情報の保護を徹底します。

治療就労両立支援

「病気になっても働き続けたい。」そんな働く人の気持ちを応援したい。

「**病気の治療をしながら仕事を継続したい**」

悩みをお持ちの患者さん等のための専用相談窓口を設置しております。



▲ 担当医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務スタッフ

近年、治療技術のめざましい進歩や、働く人を取り巻く環境の変化により、病気になっても仕事を辞めず働き続けることができるようになってきました。今後、職場においても労働力の高齢化が見込まれる中、病気を抱えた従業員が、治療を受けながら働く場面に直面することが増えると考えられます。



お一人で悩まず、相談窓口を利用して下さい。



両立支援相談窓口(無料)

対象者 当院に関わらず、がん等で治療中の方や、

そのご家族、事業場の担当者の方

対応者 両立支援促進員(医療ソーシャルワーカー)

場 所

地域医療連携総合センター(1階) 相談専用の個室あり

連絡先

0154-22-7191(代表)

※平日8:15～17:00 土・日・祝日を除く

**治療と職業生活の両立を支援することは、
労働者のみならず事業者にとっても、大きなメリットがあります。**

労働者(患者さん)のメリット

- 治療に関する配慮が行われることによる病気の憎悪の防止
- 治療を受けながらの仕事の継続
- 安心感やモチベーションの向上
- 収入を得ること
- 働くことによる社会への貢献

事業者のメリット

- 労働者の「健康確保」の推進
- 繼続的な人材の確保
- 労働者のモチベーションの向上による人材の定着・生産性の向上
- 「健康経営」の実現
- 多様な人材の活用による組織や事業の活性化



フォーカスインタビュー Focus Interview Qスイッチ付きルビーレーザー導入

形成外科

池田 正起

IKEDA
MASAKI

Q 医師になった動機をお聞かせください

やりがいのある仕事であること、また医学という分野が興味深いということでしょうか。

Q 座右の銘を教えてください

論語ですが、「義を見て為さるは、勇無きなり」という言葉が好きです。どのような仕事でもそうですが、こうした方が良いと思ったことをしっかりとと言えること、行動できることが大事だと思っています。もっとも現実には、ただ闇雲に突き進むのではなく、明確なビジョンを持ち、よく考え、よく準備しなければならないのですが。個人的には釧路では今まで行っていなかった治療をいくつか取り入れ、また手術の精度を高めるため講習会への出席や他施設の見学を行い、そしてそれらの勉強を欠かさないようにしています。

Q 専門分野について

釧路労災病院は根釧地区で唯一の日本形成外科学会認定施設です。従って、ほぼ全ての形成外科疾患を診察しています。設備などの理由で当科での対応が困難な疾患については北海道大学病院形成外科を中心に多くの施設の連携で治療にあたっています。

専門分野はしいて言うのであれば過去に研究を行っていた肥厚性瘢痕、ケロイドといった傷痕(瘢痕)が盛り上がる疾患でしょうか。人間は真皮と呼ばれる皮膚の深さまで傷を負った場合には必ず瘢痕が残ってしまう生き物です。形成外科はこのような瘢痕を綺麗にすることも仕事の一つなのですが、様々な原因で瘢痕が後から盛り上がってしまう方がいらっしゃいます。いまだに完全に治す治療法は見つかっていませんが、症状を改善するためにいろいろな

治療を当科で行っています。

手術に関しては、高齢者の眼瞼下垂(まぶたが下がって前が見づらくなる疾患)などのまぶたに対する治療を多く手がけています。手術用顕微鏡、あるいは手術用ルーペ等を用いて、より細かく、より精度の高い手術を行えるよう日々研鑽しているところです。

今年度よりQスイッチ付きルビーレーザーを導入しました。一昨年まで使用していた機器と比較して速度、出力ともに向上し、より短時間で効果的な治療が可能となりました。

レーザー治療は非常に短時間のレーザー光の照射による、あざなどの病気を治療する方法です。このQスイッチ付きルビーレーザーは先に述べた「瘢痕」を残す可能性が低く、青いあざ(太田母斑、異所性蒙古斑など)に有効な治療法です。特にこの地域では全身麻酔を要する小児の患者さんの治療が可能な施設は当院だけですので、まずはご相談だけでも受診して頂ければ幸いです。

PROFILE

平成16年	北海道大学医学部	卒業
平成18年	釧路労災病院	形成外科
平成20年	帯広厚生病院	形成外科
平成21年	函館中央病院	形成外科
平成21年	北海道大学病院	形成外科
平成26年	北海道大学医学部、 大学院医学研究科 博士課程	卒業
平成26年	手稲済生会病院	形成外科
平成26年	釧路労災病院	形成外科 現職

中央リハビリテーション部の紹介

中央リハビリテーション部 部長 山田 育



▲ 前列中央:津坂部長(医師)、右隣:山田部長、他:中央リハビリテーション部のスタッフ

中央リハビリテーション部は、平成29年7月現在、診療科医師1名(兼任)、理学療法士10名、作業療法士5名、言語聴覚士2名の総勢18名の体制で日々の診療を行なっています。

リハビリテーション医療は、この10年で大きく様変わりをしました。急性期・回復期・維持期といった機能分化がより鮮明になり、患者・家族が地域の中で切れ目無く良質なサービスを受けられるようになっております。リハビリ対象疾患も高齢化やがんサバイバーの増加など疾患構成の変化で、より広範囲で複雑化してきています。

中央リハビリテーション部も、開院当初からの運動器疾患や脳血管疾患に加え、内科や外科の内部障害やがん患者へのリハビリテーションが劇的に増

加した結果、(表1)で示すように平成19年から28年までの10年間で全体数も2.7倍強になっています。

次に昨年度の各診療科別の上位疾患数を(表2)に示します。入院、発症早期からのリハビリの提供は、脳血管障害発症3日以内でのリハビリ開始は勿論、整形外科術前からの介入で早期の機能回復はもとより、患者ニーズの把握・不安軽減にも努めています。また、高齢化に伴い、複数の疾患障害を持つ方も多くなっており(例:パーキンソン病で神経内科通院中の方ががんで内科入院、大腿骨頸部骨折で整形入院の方が肺炎発症等)、複数の診療科にまたがる疾患・障害に対しても患者さんをトータルでみるという総合病院のリハビリならではの対応が可能です。高齢者の死

因の上位を占める肺炎の増加については摂食嚥下訓練、呼吸器、運動器リハ等で予防、回復に努めています。

リハビリ新患数の推移 (表1)

	平成19年度	平成28年度
脳外科	165	621
内科	163	883
整形外科	356	519
神経内科	157	121
外科	47	356
その他	71	83
計	959	2583

リハビリ新患 内訳 (表2) 平成28年度

診療科	各科症例数	疾患・部位等	症例数
整形外科	519	下肢 (除くOA)	265
		上肢	72
		OA	85
		脊椎脊髄	82
		肩	8
内科	883	がん	499
		肺炎	85
		感染症／炎症	66
脳外科	621	CVA	307
		脊椎脊髄	267
外科	356	がん	278
		その他 (肺、胆道系疾患等)	50
神経内科	121	神経難病等	102
		CVA	10
形成外科	49	がん	15
		褥瘡潰瘍熱傷等	7
泌尿器科	20	がん	12
歯科	7	がん	5
耳鼻科	7	がん	3
計	2583	各科がん合計	812

がんのリハビリテーション

私たちは、この10年間がん患者へのリハビリテーションを積極的に行ってきました。リハビリ実施患者のおよそ3分の1をがん患者が占めています。また、厚生労働省が定めるがんのリハビリテーション研修を修了した職員は、医師6名、看護師7名、理学療法士10名、作業療法士4名、言語聴覚士1名になります。

がんの治療方法には、化学療法・手術療法・放射線治療のいわゆる3大治療があります。がん患者へのリハビリテーションは、がんによる直接的影響(脳腫瘍や脊椎転移によるマヒなど)・間接的影響(がんの進行による衰弱など)、手術(開胸・開腹術や乳がん手術など)や化学療法・放射線療法・造血幹細胞移植術等の治療による影響(倦怠感や活動性の低下などからの廃用症候群)を、それらのリスクに配慮しながら、できるだけ減らし、その人らしい生活を送っていくための援助の過程です。廃用予防や心理的効果は勿論、がんそのものによる障害治療に関係する機能障害、合併症予防回復など予防的～緩和的な段階まで広く対応しています。がん手術前後に「周術期呼吸リハ」実施により、呼吸器合併症の予防や早期離床などを図っています。また、乳がん患者の上肢リンパ浮腫・肩関節拘縮予防等リハの提供を行なっています。

病期別には、①がん診断後の早期から、未だ障害のない時期に予防的に行う時期。②がんによる障害の機能回復を図る時期。③腫瘍が増大し機能障害が進行しつつある患者の能力を維持改善する時期。④終末期がん患者に対して、QOLの高い生活を送れるよう援助する緩和ケア主体の時期の各段階でリハビリテーションとしての関わりがあります。

がんのリハビリテーションに限らず、全ての患者さんの複雑な既往やご本人・ご家族の権利意識の向上に対し、ADLのみならずQOLまで考慮した質の良いリハビリテーションサービスの提供を目指しております。このため、中央診療部の機能性を活かし各診療科医師・看護スタッフ・メディカルスタッフと連携し、今後も患者さん・ご家族に寄り添ったチーム医療に邁進します。

ピンクリボン 月間の取り組み



毎年10月をピンクリボン月間とし、「乳がんの早期発見・早期治療」を啓蒙、推進する取り組みとして、ピンクリボン啓発活動及び乳がん検診、市民公開講座を以下のとおり開催いたします。乳がん患者さんやその家族、一般市民の皆様に対し乳がんの正しい知識の普及を行い、乳がん検診啓発の機会としています。



ピンクリボン啓発活動

日 時 平成29年10月21日(土) 10:30~13:00

会 場 イオン釧路店 1階 光の広場
釧路町桂木1-1-17

内 容 当院乳腺専門医(小笠原副院長)による相談コーナー、乳房自己検診リーフレット配布、検診モデルを使った触診方法、パネル展などを活用した乳がんの知識の普及、検診の必要性や自己検診法、マンモグラフィ検診などを説明する。



マンモグラフィサンデー

日 時 平成29年10月29日(日) 8:30~12:00

会 場 釧路労災病院 外科

対 象 一般市民30名 要予約
※放射線技師は女性が対応致します。

お問い合わせ

釧路労災病院 医事課外来係
☎22-7191 (内線 2107)



乳がん市民公開講座

日 時 平成29年10月29日(日) 14:00~16:00(開場 13:00)

会 場 釧路労災病院 3階講堂 **対 象** 一般市民、患者とその家族

プログラム

講演「乳がんについて知りましょう」

講師 釧路労災病院 副院長 小笠原 和宏
座長 釧路赤十字病院 外科部長 三栖 賢次郎

特別講演「乳がんの診断と治療について」

講師 北海道大学病院 乳腺外科教授 山下 啓子
座長 釧路労災病院 副院長 小笠原 和宏

乳がんのセルフチェック実演

講師 釧路労災病院 乳がん看護認定看護師 小野 紫穂 他

相談・マッサージコーナーは13:00からご利用できます。(頭皮ケア・ウィッグに関する相談等)

趣味
の
部屋

川合 博貴
臨床工学部

南十勝、スタンプラリー巡り

期間内に集めた道の駅のスタンプ数に応じて各賞のいずれかに一つの賞に応募できる。
(チャレンジ賞:5駅以上、ハーフラリー賞:50駅以上、周遊賞:80駅以上、完走賞:115駅以上)



泉の柔らかいお湯で、身体に優しい泉質です。

泉の忠類村、現幕別町にある旧忠類村には、すぐ近くにナウマン温泉ホテルアルコ236があつてここpH9.5のアルカリ性単純温泉水質はもおススメです。



大樹町の道の駅「コスマーネル大樹」から20kmほど離れた場所にある珍しいヨード含有量が多いのであることで有名です。効能としては殺菌効果が高く、お肌に良い?そうです。泉質以外にも湯船からの太平洋は、眺めも良くおススメです。



※写真は導入されるものとは異なります。

マンモグラフィとは、乳房専用のレントゲン検査を行う装置。触診では発見できない小さなしこりや、乳がんの初期症状である微細な石灰化を発見することができます。最新の乳房X線撮影装置(マンモグラフィ)では、最新のフラットパネルディテクター技術での撮影及びトモシンセシスによる3Dマンモグラフィが可能となり、いずれもより正確で確実な診断を期待できます。

くしろ健康まつり
2017

HIV抗体検査会

匿名、無料
で受けることが
できます。

HIV感染症は、自覚症状がない場合もあり、気づかない間に感染していることが多いことから、まずは、自分の体の状態を知ることが大切です。とても貴重な機会でありますので、多くの地域住民の皆様にご利用いただきたいと考えております。

2017年 10月15日 **日** 9:00～13:30
定員になり次第締切(100名)

会場 銚路市観光国際交流センター2階

※受付は1階の
「生命のコーナー」にて

くしろ健康まつりで、当院の藤田整形外科部長が医療相談を受けます。

今後のイベント開催予定

くしろ健康まつり2017「HIV抗体検査会」

日時 10月15日(日)9:00～13:30(定員100名になり次第締切)
場所 釧路市観光国際交流センター 2F 釧路市幸町3-3
対象 一般市民
内容 HIV抗体検査(無料)

釧路管内健康フォーラム2017

日時 10月21日(土)12:50～16:15
場所 ANAクラウンプラザホテル釧路 3階「万葉の間」
対象 一般市民
内容 無料健康相談と無料マッサージコーナー、講演会

ピンクリボン啓発活動

日時 10月21日(土)10:30～13:00
場所 イオン釧路店 1階「光の広場」
対象 一般市民
内容 相談コーナー、自己検診リーフレット配布、パネル展等

マンモグラフィサンデー

日時 10月29日(日)8:30～12:00
場所 釧路労災病院
対象 一般市民 30名 要予約 ※放射線技師は女性が対応します。
お問合せ 釧路労災病院 医事課外来係 ☎22-7191(内線2107)

乳がん市民公開講座

日時 10月29日(日)14:00～16:00
場所 釧路労災病院 3階講堂
対象 患者・患者家族・一般市民・医療従事者
内容 講演会、乳がんのセルフケアチェック実演等

ホスピス緩和ケア公開講座

日時 11月18日(土)14:00～15:30
場所 釧路労災病院 3階講堂
対象 患者・患者家族・地域住民
内容 関連グッズの展示・試供品の提供等、講演会

土曜脳ドックのご案内

土曜日に脳ドックを始めます。検査所要時間はわずか30分です。平日はお仕事で時間のとれない方も、週末のお休みの日に受検できます。通常の脳ドックより、時間も短縮、費用もお安くなります。どうぞご利用ください。



実施日 每月第3土曜日 ※完全予約制(2017年10月から)

時間 8:30～12:00

実施人数 1日7名 ※検査所要時間約30分

検査項目 MRI、血圧測定

料金 23,000円(税込)

お問合せ 釧路労災病院 医事課外来係

電話 (0154) 22-7191 内線2107

電話受付時間 8:15～17:00(土・日・祝日、12/29～1/3年末年始を除く)

URL <http://kushiroh.johas.go.jp>

病院にお越しの際は 保険証をお忘れなく！

保険証は毎月1度、②番窓口で確認していますので、必ずご提示ください。

外来患者 さんへ

- 予約日(時間)を変更される場合は、午後3時から午後4時30分までに予約診療科へご連絡下さい。
- 本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力下さい。
- 紹介状をお持ちの方は地域医療連携総合センターにお越し下さい。(地域医療連携総合センターTEL: 0154-32-3464)

受診についてのお問合せは医事課(内線2151)までお願い致します。 お問合せ: **0154-22-7191**(代表)

編
集
後
記

夕暮れも、少しずつ早くなり、秋の気配が感じられるようになってきました。
秋はいろいろありますが、私は「食欲の秋」が一番です。(編集長H)



独立行政法人 労働者健康安全機構

釧路ろうさい病院

〒085-8533 釧路市中園町13番23号

TEL 0154-22-7191(代表) FAX 0154-25-7308

地域医療連携総合センター

TEL 0154-32-3464(直通)

<http://kushiroh.johas.go.jp>

くしろろうさいびょういん 検索

